

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
発達と学習 Development and Learning Psychology		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(教職課程科目 (英語、栄養教諭))	特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教職課程科目と心理学。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程科目。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金 (授業時間と学生相談時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
この科目では、人がどのように発達し学習していくのかについての諸理論を、特に幼児期から青年期を中心としてワーク等を活用して体験的に学び、それをもとに学校現場で生じる諸事例に対して考察を行う。				
授業の目標				
①児童や生徒の発達とそれに伴う心理的問題について理解し、適切な対応をとることができるようにする。②発達段階に適した教育方法を理解し、適切な指導方法をとることができるようにする。				
授業の方法				
講義形式と、グループワークなどの参加型形式。				
学習の成果 (学習成果)				
①幼児から中学生までの発達の過程と特徴を理解し、この時期に起こりやすい心理的問題に対して予備的な知識を得て、適切な対応をとることができる。②発達段階を想定し、授業方法を工夫して授業計画を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：授業概要や目標の説明 介入作成と発表			
第2回目	成績評価と受講上のルール説明 教職を目指す動機を含めて自己紹介			
第3回目	発達の定義と基本的問題 環境の影響			
第4回目	発達段階と発達課題			
第5回目	発達と対人関係			
第6回目	心身の発達① 乳幼児期から児童期 模擬授業計画案について説明			
第7回目	心身の発達② 中学生期 アイデンティティ			

第7回目	学習理論 強化 模擬授業計画案提出（1回目）
第8回目	学習と記憶 模擬授業計画案提出（2回目）
第9回目	動機づけ 模擬授業計画案提出（3回目）
第10回目	学習の実験
第11回目	教育に関わる問題についてグループディスカッション
第12回目	模擬授業計画案提出（最終）
第13回目	模擬授業実施
第14回目	模擬授業実施
第15回目	模擬授業実施（予備日） まとめ
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	50% 目的意識を明確に持ち、積極的に参加し、ノートテイク、資料の読み込みを行っている。
レポート	
調査報告書	
小テスト	
試験	
発表内容（態度含む）	50% 模擬授業において、授業対象者の年齢を設定し、その発達段階にふさわしいテーマを選択し、説明用の教材とことばを工夫し、落ち着いた態度で発表している。
その他	
教科書と参考図書	
必要に応じて資料を配布する。	
履修上の留意点・ルール	
積極的な参加および教職を志す者としてふさわしい態度と行動を求める。	